

広島市議会議員  
母谷たつのり

# 市政報告

# 秋の風

Challenge 21

## 謹啓

街路樹のアメリカカフウがそろそろ色づき始めています。日中の温暖な気候と朝晩の冷え込みが山々の彩りを鮮やかに染めていく日も近いでしょう。

9月には、自民党、民主党で党代表選挙が行われ、自民党では安倍晋三氏が再び総裁に選出され、民主党は引続き野田佳彦氏が代表の座に就きました。両党とも新たな体制でスタートしたばかりですが、「近いうちに」とした解散・総選挙の行方が年内か年を越すのか注目されています。

10月29日に召集される臨時国会で先行きが見えてきそうですが、「特例公債法案」と「1票の格差是正問題」とあわせて「税と社会保障の一体改革国民会議の設置」が鍵を握っています。

急激な寒さで体調を崩さないようご自愛いただき、皆様のご健勝をお祈りいたします。謹白

- 定例会
- 議員辞職
- 総括質疑
- 西風新都整備計画

## 定例会(平成24年9月13日~26日)

9月定例会は、9月13日から26日までの14日間を会期とする日程で行われました。一般会計補正予算（14億6千7百万円）と介護事業特別会計補正予算（1億5千万円）の2予算案のほか、条例案8件、その他の議案9件、報告5件が上程され、原案通り可決されました。中でも佐伯区石内湯戸・下沖地区的地区計画が整ったことから建築物の制限に関する条例が一部改正され、ホームセンターの『コナツ』が進出する準備が進んでいます。

## 議員辞職

9月20日未明、西区選出の関藤雄姿議員（みんなの党・38歳）は、中区八丁堀をオートバイで運転中、付近を警ら中のパトカーに職務質問を求められました。酒の臭いがしたためアルコール検査をしたところ、呼気1リットルあたり、0.3ミリグラムのアルコールが検出されたため酒気帯び運転で検挙されました。

本人は、当日の本会議前、議長に対して事件を



《大邱カラフルフェスティバルに参加した山陽高校和太鼓部》

報告しました。したがって本会議の開会が、およそ30分遅れるという事態に陥りました。

出処進退について、翌週月曜日の24日までに明らかにするという意思を示したため、議会は、成り行きを当日まで見守ることになりました。

24日当日の本会議前、本人が『支援者と相談した結果、辞職する気持ちを固めたので辞職願を提出したい』と、議長に申し出ました。

この事態を受けて議会は、議会運営委員会を開き、最終日の日程にこの取り扱いを追加し、辞職を許可することが全会一致で認められました。

あなたの声を聞かせてくださいいい汗流そう! いい笑顔つくろう!

母谷たつのり

私が直接  
ご返事します

ホットライン

ご意見  
ご要望は

TEL.929-9002

[info@motani.jp](mailto:info@motani.jp)

## 総括質疑

決算特別委員会が設置され、最初の全体会議で平成23年度の決算概要が説明されました。

これに基づき、10月4日には総括質疑が行われ、私は自由民主党・保守クラブを代表して総括質疑に立ちました。

行財政改革としての取り組み、都市活性化に関する方針、リスクマネジメントなどについて当局を質しました。

内容については以下のとおりですが、当日は、決算特別委員会・総括質疑がインターネット生放送

され、その模様は現在、市議会ホームページ上の録画中継でご覧になります。

(<http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/>)

- ①ゴミ収集体制のあり方 (直営と委託、入札制度)
- ②下水道遊休施設の売却について (売却物件の公開)
- ③旧市民球場跡地の利用計画について
- ④アストラムラインの延伸と道路整備について
- ⑤内部統制の強化 (不祥事、不正経理再発防止)

また、この内容は、10月下旬発行の「市議会だより」に掲載されています。

## 西風新都整備計画

私は、西風新都整備計画について昨年の9月定例会で、その縮小・見直しを含めた広島市の方針について質しました。この質問に対し、松井市長の答弁は、「広島市の中で残り少ない開発地域であり、当初計画を一部見直しても事業の完成を目指すことが広島市の発展に繋がる」という趣旨の前向きな発言で積極姿勢を示しました。

もともと西部丘陵都市建設事業として構想されたが、1990年代初め、バブル崩壊で民間開発業者が倒産、撤退を余儀なくされた後、約20年にわたって放置されたままとなっていました。

こうした中、石内バイパス沿道における上中地区で**市街化調整区域**の違法建築物が指摘される事態が発生し、大きな問題となりました。

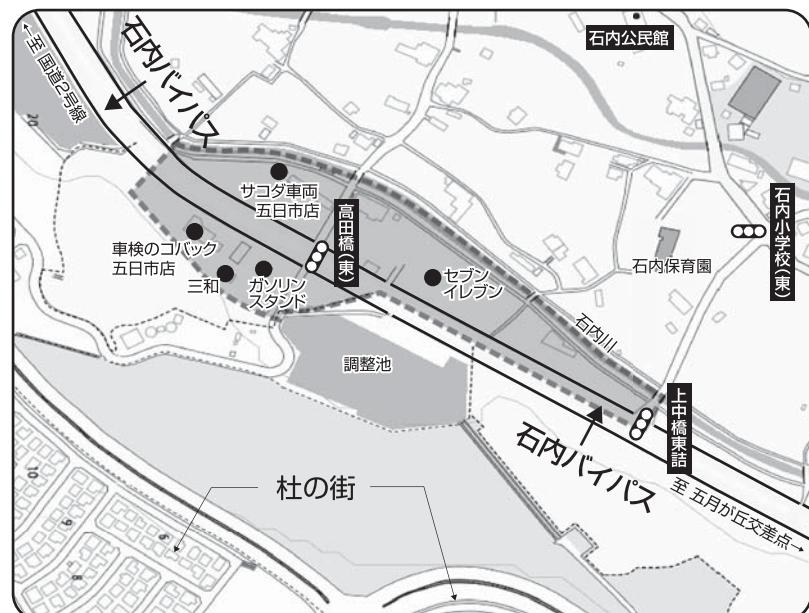
私は、佐伯区北部の発展を実現するためには、現状を打破し、この地区を活性化する必要があると考えました。開発や建物の建築が都市計画法で制限されている現状を開拓するには、地権者の総意と5,000m<sup>2</sup>以上のまとまった土地を形成することで**市街化区域と同様**の建築が可能となる**地区計画**を進める必要がありました。

そのためには、地権者と地元住民の不安と疑問を浮き彫りにし、丁寧に対応することで理解を深めることが必要不可欠と判断しました。

私は、行政当局と協力し、地区計画の内容、固定資産税、相続税について、15回にわたる地元説明会・勉強会を開き活性化実現に向けてスタートしました。

以上の経過を経て、来年1月中旬には、広島市へ地区計画の素案を提案することになります。私は、これまでに本会議、委員会など様々な場面を通して発言、質問し、その重要性を訴えてきましたが、前秋葉市政まで全く動きの無かった計画が、松井市政になった途端に動き始めました。

**石内東地区**や**湯戸・下沖地区**の大規模な開発計画は佐伯区発展の起爆剤として重要ですが、**石内バイパス沿道の地区計画は、佐伯区北部を発展・活性化するために、さらに大事な事業**だと考えています。



Challenge 21

# 母谷たつのり事務所

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号 TEL.929-9002 FAX.927-7080

市議会 TEL.504-2227  
FAX.249-4010

E-mail [info@motani.jp](mailto:info@motani.jp)

広島市議会ホームページ

検索

検索してね！

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/>

母谷たつのりホームページ

検索

<http://www.motani.jp>



「明るく、元気で、魅力ある広島」の実現！